

活動
報告

埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター

地域リハビリテーションたより



発行元

地域リハビリテーション・ケアサポートセンター
戸田中央リハビリテーション病院（南部医療圏域担当）

〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南 4-1-29
TEL：048-431-1111 FAX：048-442-3500
E-mail：kurabayashi@chuobyoin.or.jp



埼玉県
ホームページ
地域リハ支援体制

介護予防サポーター養成講座



戸田市・蕨市・川口市の各市では、地域で介護予防のためのボランティアの養成講座を開催しています。回数などは市ごとに異なりますが、体操の方法以外にも各地域の特性や高齢者の心身の特徴、運動の注意点などを専門職から学び自分も含めて周囲の人々を元気にする役割を担っています。

地域ケア会議



地域ケア会議は、住み慣れた街で自分らしく暮らし続けられるよう、医療や介護の専門家が集まって生活の困りごとを話し合う場です。戸田市では3カ月ごとに開催しています。一つひとつの事例から地域の課題をすくい上げ、多職種が連携して助け合える仕組み作りや、より良い街づくりのための検討を進めています。

通いの場支援



10年続く「健康の輪」 継続を支援しています！

戸田市・蕨市・川口市では「いきいき百歳体操」をはじめとする介護予防の場が地域に深く根付いています。中には10年以上の長きにわたり、地域住民の健康と交流を支え続けているグループもあり、まさに「地域の宝」です。一方、活動が長く続くにつれ、参加者や運営を担うサポーターの高齢化という新しい課題も見えてきました。継続支援の一つとして、リハビリテーション専門職を各グループへ派遣し、尿漏れ予防、認知症予防、誤嚥性肺炎予防など、多様なテーマで講座を実施しています。「今の自分たちに必要なこと」を学び、これからもお互いに支え合う。そんな「通いの場の深化」を全力で応援していきます。

介護予防普及啓発事業



高齢者がいきいきとした生活が続けられるよう、運動や

健康づくりの大切さを広く伝える取り組みも行っています。介護フェスティバルでは各地の介護予防サポーターが自分のグループの紹介もしながら百歳体操を行いました。また、ショッピングモールでの健康チェック会に専門職を派遣し体力測定や結果の説明を行いました。

保健事業と介護予防の一体的実施



フレイル予防教室を実施しています。現在の身体機能の現状を客観的に知ることは、健康づくりの大切な一歩です。教室では、運動・口腔・栄養の知識を専門職から学ぶとともに、参加者同士のつながりづくりを重視しています。同じ目標を持つ仲間と交流しながら取り組むことで、自分らしい生活を支える大きな力になります。

認知症施策

新しい認知症観

「認知症になっても、楽しみや役割を持って暮らしていける」そんな考え方が、今、全国で広がっています。かつては「何もできなくなる」といった不安なイメージが強かった認知症ですが、現在は「周囲の理解とサポートがあれば、その人らしく輝き続けられる」という新しい認知症観へと変わってきています。

みんなで創る「新しい認知症観」 戸田市「とこカフェ祭り 2025」



新しい認知症観を普及するイベントとして、戸田市では「とこカフェ祭り」が開催されました。市内13カ所のオレンジカフェが主催となり、認知症の当事者、ご家族、そして地域の子どもたちや住民、そこにいた全員が「認知症」という枠を超えて一緒に楽しめる空間が造り上げられました。



高次脳機能障がいサロン

高次脳機能障がいって？

脳卒中などの病気や事故の後、「新しいことが覚えられない」「感情のコントロールが難しい」といった、外見からは分かりにくい症状が出現することがあります。これは「高次脳機能障がい」と呼ばれ、周囲に理解されにくい孤独感を抱えやすいのが特徴です。

当事者たちで作る「自分たちの集いの場」

こうした悩みをひとりで抱え込まず、安心して社会生活を送れるよう活動しているのが、2025年に発足した高次脳機能障がいサロン「脳血管疾患友の会」です。本会は戸田市を拠点に、当事者やご家族が中心となり立ち上げられました。活動の柱は、同じ境遇の仲間との交流です。おしゃべりで悩みを分かち合うほか、専門職への相談や、自立に向けた運動、レクリエーションにも取り組んでいます。地域を限定せず、近隣の蕨市などから参加されている方もいます。先日は会場近くの公園へみんなで歩いてお花見に出かけ、春の光の中でリフレッシュした時間を過ごしました。参加者からは「情報交換ができて心強い」「仲間と話すことで気力が湧き、趣味の旅行を再開できた」という前向きな声も届いています。



ケアラー支援

ケアラーって？

大切な人を支えるケアラー（介護者）は、つい自分のことを後回しにしがちです。その結果、心や体が疲れたり、社会からポツンと孤立しがちです。「支える人を一人にしない」優しいつながりと、地域の支え合いが今、とても必要とされています。埼玉県では令和2年よりケアラー支援条例が制定されました。

拡がる支援の形

そういった方々の負担軽減を目的として、知識や技術を学ぶ場として「介護者サロン」や「家族介護教室」が各地域で開催されています。専門職による講座や楽に介助できる方法の実演などに加えて、参加者同士の交流などからお互いに支え合う機会も増えてきています。



災害リハビリテーション

「平時の地域リハ」を 「有事の災害リハ」へ

災害リハビリテーションの本質は、避難生活での心身機能低下を防ぎ、自立した生活を支えることです。令和7年度は地域リハビリテーション協力医療機関会議を開催し、災害リハビリテーションの情報を共有

しました。会議には各市の危機管理部門や介護予防担当の方も参加し、分野を越えた連携に向け第一歩を踏み出しました。平時の通いの場や事業で築いた「いつもの関わり」こそが、有事の際のスムーズな見守りや役割創出を生み、災害関連死を防ぐ鍵となります。平時からの備えを地域全体で推進します。



派遣実績

蕨市・戸田市・川口市

- 介護予防ボランティア養成講座 31件
- 自主グループ支援 193件
- 地域ケア会議等 41件
- 介護予防・日常生活支援総合事業等 32件
- その他会議・研修等 40件

リハビリテーション専門職を 派遣しています

地域を元気にする取り組みにリハビリテーション専門職の派遣を行っています。対象は、医療介護の従事者の方、行政の方、市民の方さまざまです。

協力医療機関等 (16施設)

中島病院	東川口病院
とだ小林医院	川口市立医療センター
戸田中央総合病院	老健かわぐち ナーシングホーム
辻川ホームクリニック	中青木整形外科
グリーンビレッジ蕨	川口きゅうぼら リハビリテーション病院
まちのリハビリ室	タムスさくら病院川口
益子病院	済生会川口総合病院
グリーンビレッジ安行	川口工業総合病院

高齢者に関する内容以外にも対応しています。

[例]産後ケア事業(骨盤ケア教室)

講師の派遣 についてお考えの方は、下記連絡先までお問い合わせください。



お問い合わせ

南部圏域担当

地域リハビリテーション・ケアサポートセンター
戸田中央リハビリテーション病院

担当：倉林(くらばやし)・山田(やまだ)
河住(かわすみ)・熊坂(くまさか)

〒335-0026 埼玉県戸田市新曾南 4-1-29

TEL: 048-431-1111 FAX: 048-442-3500

E-mail: kurabayashi@chuobyoin.or.jp

担当地域

戸田市、蕨市、川口市
協力医療機関等：31か所
(病院・診療所、
介護老人保健施設等)